



ロータリー：  
変化をもたらす

RI 会長テーマ

2017~2018 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人



会 長 水野 賢一  
幹 事 鈴木 信男  
副会長 高木 久子

会長指針：

一人はみんなの為に

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

12月第1週例会 2017年12月 7日(木)

ソング：君が代 四つのテスト ボックス：35,000円 (報告者 紀室 綾子会員)  
本日出席率：55.77% 前回修正後100% (メンバー20名) (報告者 千田喜一郎会員)

### ★ 会長の時間 水野賢一会長



高木久子さん、文部科学大臣表彰おめでとうございます

高木さんは、40年に及ぶ学校薬剤師としての活動が評価され今回の表彰となりました。自分の職業活動が評価され、まさにロータリー活動の職業奉仕そのものです。

また、今回2520地区のポリオプラス副委員長に就任いたしまして、ますますのご活躍を期待しております。

前回の盛町「浦貞」での夜例会はいかがでしたでしょうか、私はすごく有意義で楽しかったです。なんか、夜例会だとリラックスでき話しやすく感じるのは私だけでしょうか。ということで、今日は日中なので緊張してうまく喋れないと思います。

今日は、新入会員セミナーを受講しての発表のプログラムになっていますが、発表者が欠席などで少ないとの事で、幹事から少し長く話をしてくださいと言われていたのもう少しお付き合い願います。

先月、ゴルフに行った時に付いたキャデイさんがプロを目指している練習生だったのですが、その時のアドバイスが凄く適切なのは解るのですが、その通りに出来ないのが素人ゴルファーなのですね。色々冗談を言いながら回っているうちに、私の打つ球がほとんどスライスする(右に曲がる)のを見ていて、キャデイさんがグリップの握り方を教えてくれました。今まで誰にも指摘されたことも無かったし、自己流でまことに振りやすかったのですが、教えて貰った通りに変えてみたらスライスが出にくくなりました。慣れないと物凄く気持ち悪い握り形でしたが「さすがプロ候補生は凄いな」と言いましたら、これは基本ですと軽く言われました。私もコースで教えて貰い、練習なしですぐ出来るのでプロになれるね、と返しましたがスルーされました。

ゴルフもロータリーも基本が大切。基本が出来ていれば上達も順応も早くでき、もっと楽しめると思います。新入会員さんもセミナーを生かして、又会員同士の雑談の中にも沢山のヒントが有ると思いますので、皆さんの出席が大事だと思います。

今日の新聞に、2020年ラグビーワールドカップでカナダチームの合宿地が盛岡に決まったと有りました。だんだん盛り上がってきましたね。

ただ問題も有り、ラグビーワールドカップ、チケット先行予約が来年1月13日から始まるのですが、予約方法が電子予約となっていてメールで無いと出来ないの、パソコンの苦手な年寄は、登録すら出来ない事態になっている事が問題になっているそうです。どこか窓口を作って受付員をおいて、代わりに入力してくれる様に改善したらもっと身近にワールドカップを感じられると思いますがいかがでしょう。

- 1 ガバナー事務所より
  - ・ 昨年度の「End Polio Now : 歴史に1 ページを刻もう」キャンペーン支援に対し RI からの感謝状が届いています。
  - ・ 12月のロータリーレート 1ドル112円
- 2 難民を助ける会より 会報が届いています。
- 3 2016 - 2017 年度地区大会記録誌と年次報告書が届いています。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆  
新入会員セミナーに参加して

★ 山口 徹会員



次のようなことを勉強させて頂きました。

- ・ 1905年シカゴでロータリークラブ設立
- ・ 創始者はポールハリスさん
- ・ ロータリーとは、集会を各自の事務所が持ち回りで順番に開くことから名づけられた
- ・ 全世界の会員数は120万人いじょうで、世界規模のグローバルな団体である

- ・ 日本の会員数は、約9万人である
- ・ ロータリーは人道的な奉仕を行う。決して金銭だけではない
- ・ ロータリーとライオンズの違い ロータリーは Iサーブ ライオンズは Weサーブ
- ・ とりあえず例会に出席すること
- ・ 例会での身なり、服装には気を付ける

できるだけ例会に参加し、色々と学んでいきたいと思えます。

★ 三浦和士会員



水野会長からの「ロータリーをよく理解してほしい」という挨拶に始まり、概要・会計・活動・全般と4名の先輩からそれぞれ受講しました。

先輩会員のお話や職業を通じての奉仕団体であること、そしてその大切さ、また、会計面では2520地区は寄付0クラブが多かったことや、1905年の創立から昨今の状況。そして締めくくりとして、会員としての心構えやクラブの果たすべき役割などについてお話を伺いました。

なかでも強く共感できたのは、「住みよい社会を創るのがロータリーであり、その活動は決して地位や財力でするものではない。」という内容でした。

これらの講話を通じて感じたことは、いずれのことも継続されてこそ意味があり、目的・役割を成就させるものだと感じました。

では、一人のロータリアンとして自分は何ができるのか自問してみたところ、次の結論が自分らしいことかなと思っています。

それは、美味しい昼ごはんが主な目的ではありませんが、これからも出来るだけ例会には出席し、積極的に行事に参加してロータリーへの理解を深めながら、この一年間で緩んだ気持ちを引き締めて元の謙虚な？自分に戻れるよう努力していきたいと思えます。 来年の100%景品はなんだべな～？

貴重なお話をどうもありがとございました。

## ★ 菅野嘉洋会員



3年未満でもあり、ロータリーとは何かを勉強しないと例会時前に立って司会などできないと思い2回目ですが受講しました。

山口情報小委員長・・・心構えを含めたロータリーの概要について

濱守パストガバナー・・・財団・米山の寄付について。寄付金の使い道・その寄付金で生まれる地区補助金の活用。濱守年度で2520地区に寄付0クラブが無くなったこと

門田パスト会長・・・ライオンズとの違い　ライオンズは元ロータリアンが創設

ロータリーは個人での奉仕　ライオンズは集団での奉仕を謳う

齊藤パスト会長・・・西ロータリーの現状と未来について

以上のようなことを教えて頂きました。

ロータリーの活動は、人間愛が基本となっているという事。難しいことはこれから勉強していくことになると思いますが、例会やいろいろな行事に参加することが身近な奉仕であること。

参加することによりロータリーを楽しめるのだと思いました。